

第1回次世代自治共創会議

2025/5/31@東大本郷キャンパス山上会館

須崎市（人口2万人）の教育改革 ～さいたま市改革メソッドの地方展開～

前さいたま市教育長

須崎市教育政策プロデューサー/LEAP理事

細田真由美

自己紹介 戦略的な教育改革の実践

埼玉県立高等学校英語教諭、埼玉県並びにさいたま市教育委員会事務局勤務
さいたま市立大宮北高等学校校長を経、2017年より2023年まで2期6年間
さいたま市教育委員会教育長を務める。

さいたま市教育 のPRポイント

✓全国トップクラスの学力！ ～全国学力・学習状況調査より～



令和4年度は「教科に関する調査」のすべてで全国の平均正答率を大幅に上回りました。小学校の理科、中学校の国語・数学は20政令指定都市の中で第1位です。「生活習慣や学習環境等に関する質紙調査」では、「自分には、よいところがあると思う」「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」などの自尊意識や学習状況に関する質問項目において、肯定的な回答の割合が高く、全国平均を大きく上回っています。

✓日本一の英語教育！

～さいたま市の「グローバル・スタディ」～

さいたま市の「グローバル・スタディ」は小学校1年生から中学校3年生まで一貫したカリキュラムに基づく英語教育を実施しています。令和元年度全国学力・学習状況調査中学校英語では、47都道府県20政令指定都市の67自治体で全国1位に！文部科学省が実施する英語教育実施状況調査でも平成30年度以来、中学生の英語力は毎回全国1位！さいたま市は「日本一の英語教育」を展開しています。



✓躍進する教育DX！ (デジタル・トランスフォーメーション) ～さいたま市スマートスクールプロジェクト～



さいたま市スマートスクールプロジェクトを始動し、ICTを活用した「学び方」「教え方」「働き方」の改革を推進しています。令和4年10月には複数の企業と連携協定を結びました。連携事業の柱として、令和6年度より導入予定の「スクール・ダッシュボード」の開発を進めています。そして「教え方」の改革においては、各校2～5名程度のエバンジェリストとして、一人1台端末と連携企業との協力体制を活用し、「主体的な学びの伴走」を目指した指導改善に取り組んでいます。

「さいたま市改革メソッド」

さいたま市教育長時代は「3つのGで（Grit, Growth, Global）で
日本一の教育都市へ」を掲げ、戦略的に様々な教育改革に邁進

自己紹介 今、私がチャレンジしていること

うらわ美術館館長
兵庫教育大学客員教授
東京大学公共政策大学院非常勤講師
文部科学省学校DX戦略アドバイザー
さいたま市教育政策アドバイザー
一般社団法人LEAP理事
自治体の教育政策アドバイザーや様々なスタートアップ
の支援等

須崎市教育政策プロデューサー

さいたま市の教育長を担っていた時

0歳から14歳までの転入超過 9年連続日本一

→さいたま市教育を選んでくださる子育て世帯の増加が
とても嬉しかった

でも、本当にこれでいいんだろうか??



さいたま市での教育改革の実際！

～人口135万人超の政令指定都市をどう動かしてきたか～

- 大きな自治体だからこそ、現場主義に徹した
- 徹底的に対話して、6300人の教師をどう動かすか
仕組みを議論し続けた
- 教育委員会の「当たり前」をやめた。
- 目の前の子どもたちは未来を生きる人々だから、
教育は最も未来志向でなければならない

「さいたま市立高等学校特色ある学校づくり計画」策定

県立でもない私立でもない 市立高校の魅力

「さいたま市立高等学校特色ある学校づくり計画」を策定し実施
VUCAの時代をたくましく生き抜く、グローバルリーダーの育成



市立浦和高等学校

さいたま市初の
中高一貫校であり
スーパー進学校



市立浦和南高等学校

スポーツを軸にし
た地域連携型高校
であり進学重視型
単位制高校



市立大宮北高等学校

理数科設置から
スーパーサイエン
スハイスクールへ



市立大宮国際中等教育学校

IBを教育哲学に据
えた中等教育学校

教育委員会事務局職員として、市立高校の魅力化の青写真を描き、校長として魂を入れ、教育長として徹底的に学校を支援した最高の経験をさせていただいた！

さいたま市の「英語教育実施状況調査」の結果

2017（平成29）年度
さいたま市58.9%: 全国平均40.7%
政令指定都市第1位

2018（平成30）年度
さいたま市75.5%: 全国平均42.6%
都道府県・政令指定都市第1位

2019（令和元）年度
さいたま市86.3%: 全国平均47.0%
都道府県・政令指定都市第1位

2022（令和4）年度
さいたま市86.6%: 全国平均49.2%
都道府県・政令指定都市第1位

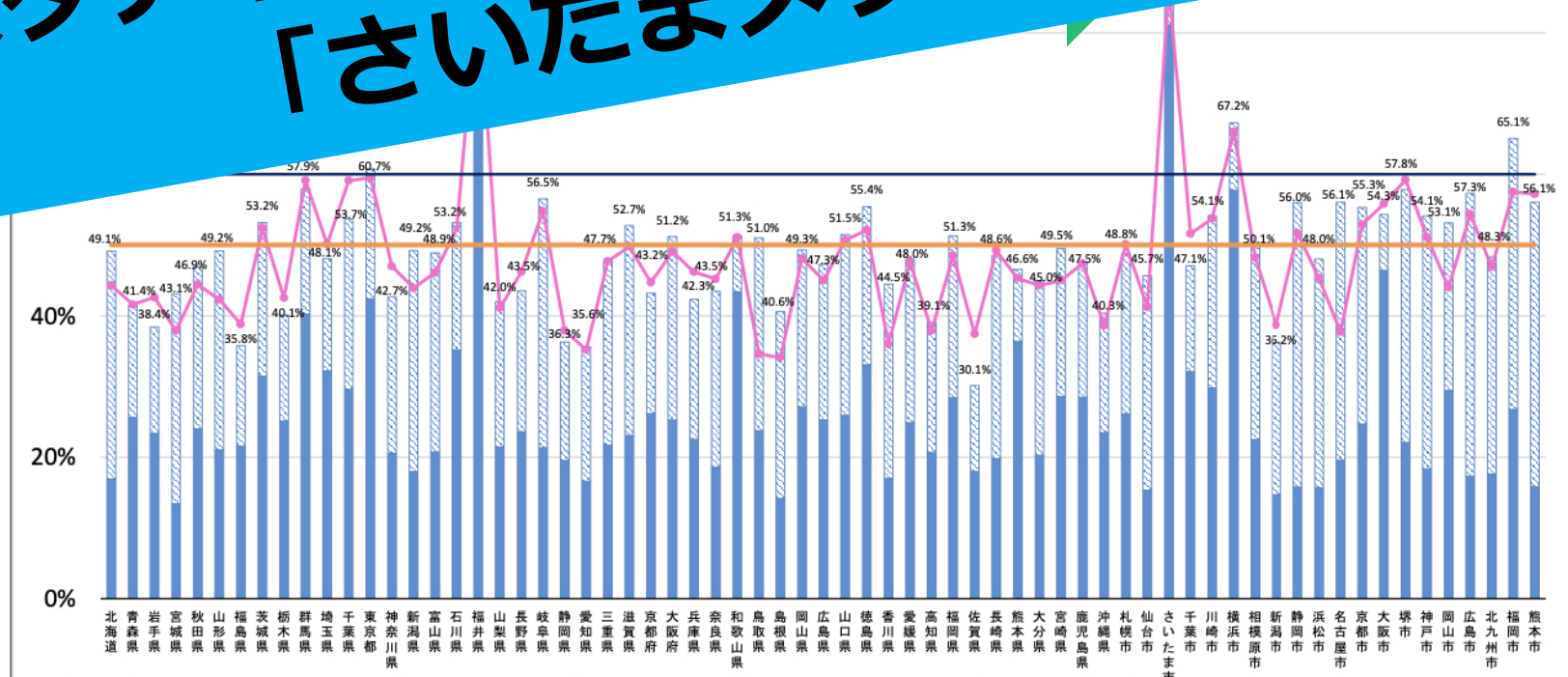
2023（令和5）年度
さいたま市88.4%: 全国平均50.0%
都道府県・政令指定都市第1位

中学生の英語力（都道府県・指定都市別）

CEFR A1レベル相当以上

依然として自治体間の差が見られ、
改善に向けて取り組む必要。

100%



※「第4期教育振興基本計画」（R5～R9）では、すべての都道府県・政令指定都市において、CEFR A1レベル相当以上を達成した中学生の割合5割以上を目標としている。

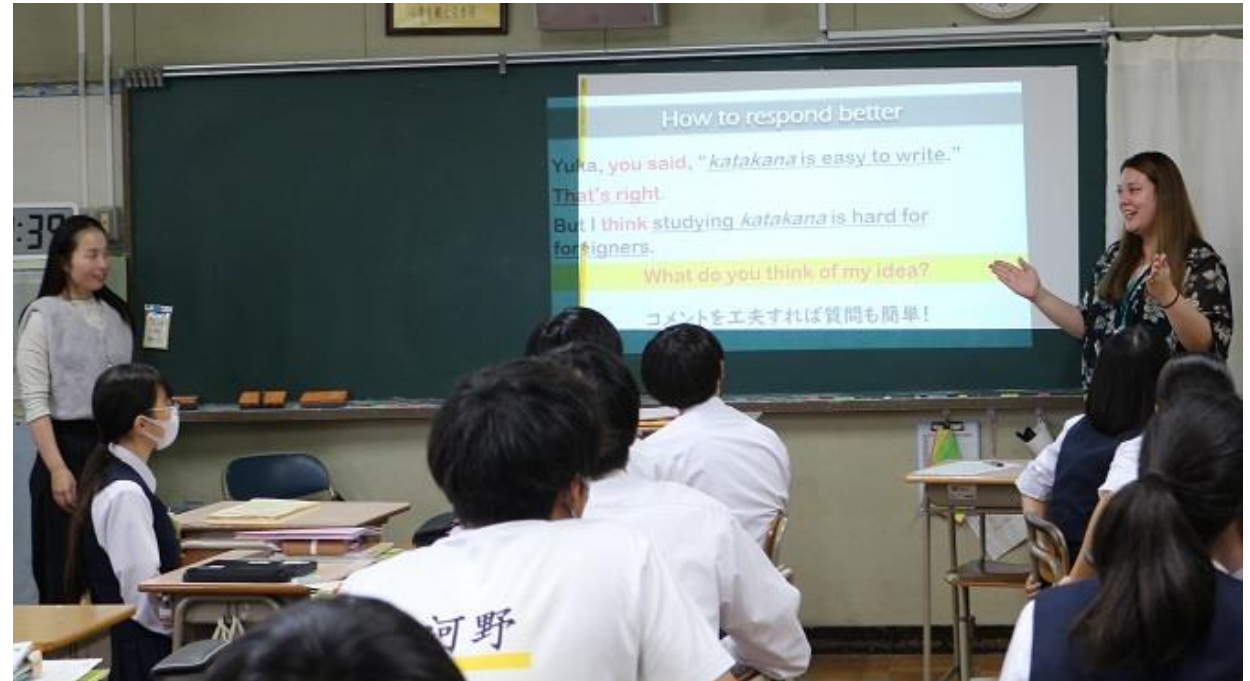
グローバル・スタディ（GS）を柱とした英語教育
「さいたまメソッド」

中学生の英語力 5年連続1位

さいたま市

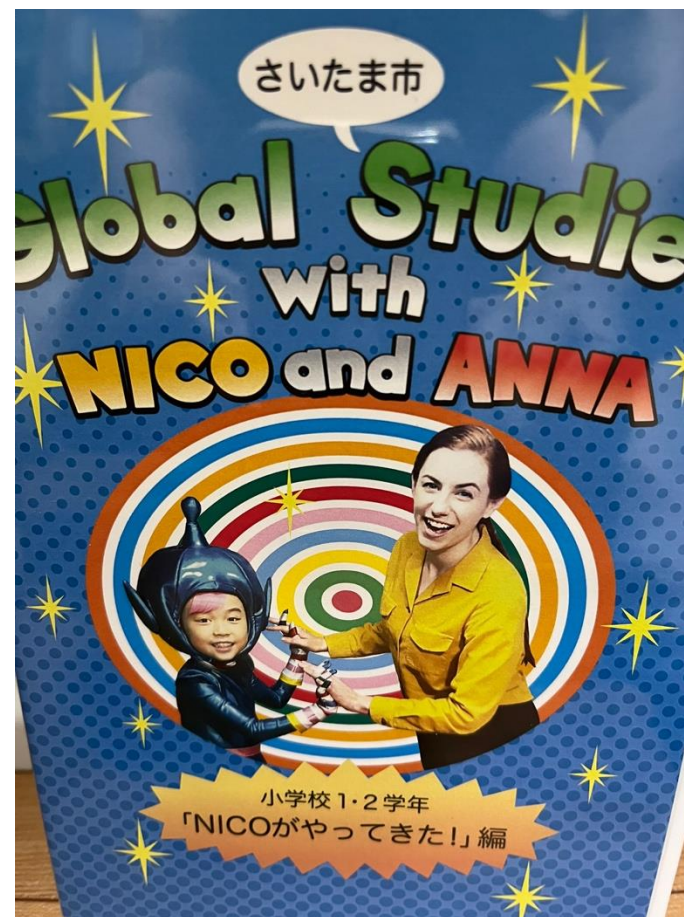
「GSを柱とした英語教育 さいたまメソッド」 自前主義をやめた先にある充実した指導体制

- 外部試験を活用してエビデンスとデータに基づいた指導
- ICT、AIの活用で効果的な指導
- 小学校教師にAll Englishのネイティブ研修実施



「GSを柱とした英語教育 さいたまメソッド」 属人化させないための指導体制の構築

- 小・中9年間を「4・3・2制」で捉えたカリキュラム
- オリジナル教材の開発



アウトプットの重要性を認識したさまざまな実践

インプット→アウトプット→もっとインプット
エコ循環がモチベーションを高める

小学校英語劇発表会



中学校 スピーチコンテスト ディベート大会



イングリッシュ キャンプ



自分の行動で国や社会を変えられると思う 若者を育てたい

さいたま市模擬国連大会開催

"How to feed the Earth in 2050"



海外フィールドワークでアントレプレナーシップ教育を イノベーションプログラム @シリコンバレー

スタンフォード大学：特別講義受講/ **Stripe**：デザインシンキングのワークショップ

PLAG&PLAY：世界のピッチコンテスト体験/投資家にイノベーション企画プレゼン



いろいろな英語が飛び交っていることに気づいた高校生たち

English から World Englishesへ

地域探求プロジェクト「さいたまエンジン」 中高生がさいたま市の魅力を全国に発信！

「さいたまエンジン」とは

中学生



地元企業



地域



新たな価値との出会い



中学生によるビジネス提案を取り入れた探究学習プログラム。

中学生が企業や地域を探究し、年間15回程度の授業を通して、「地元企業の強みや特色」と「地域の課題等」を掛け合わせ、生徒オリジナルのビジネス提案を行うもの。

企業は学校を訪問し、授業を通して生徒のビジネス提案に伴走。

生徒は、このビジネス提案の企画という経験を通じて、自身のキャリア形成において新たな価値と出会う。

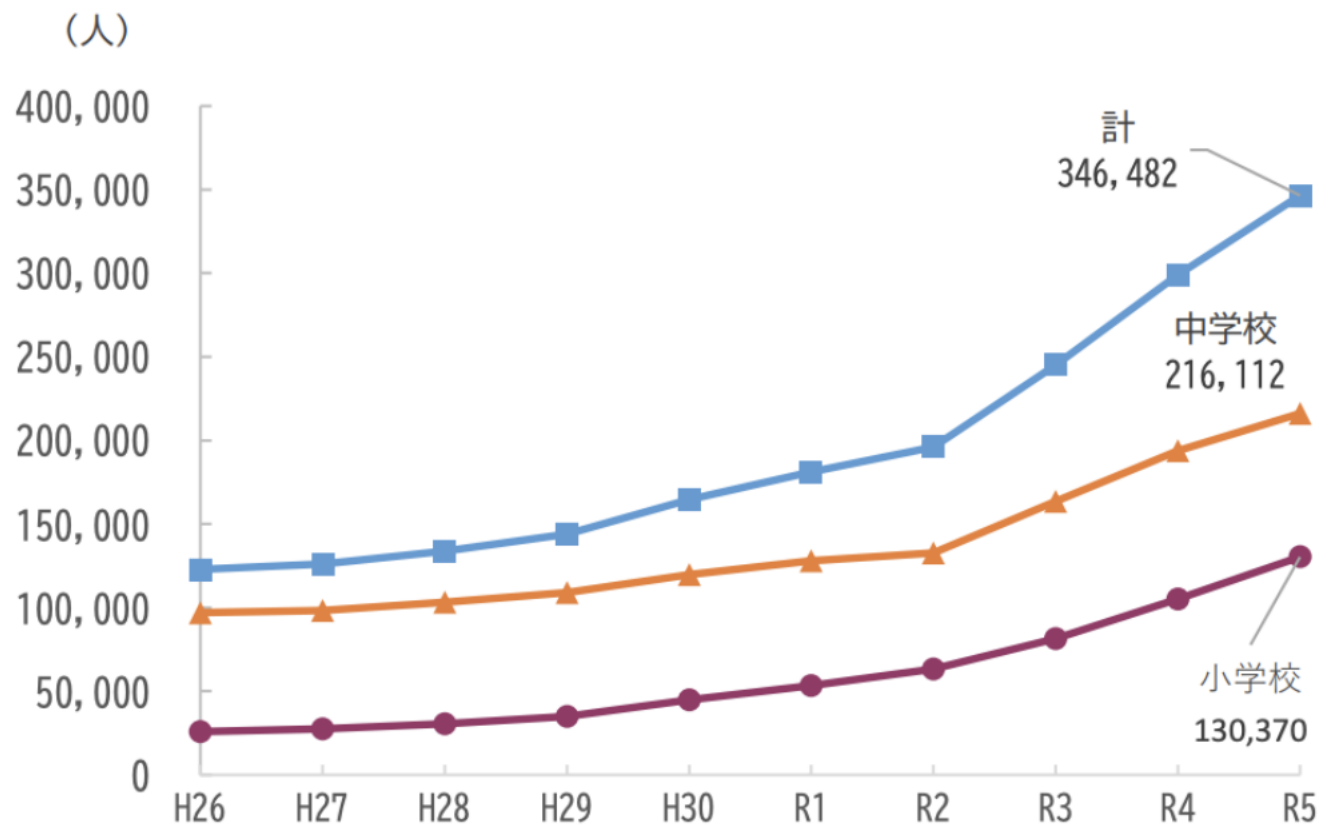
「さいたまエンジン」の集大成「さいたまカップ」



すべての子どもたちを学びに繋げたい

不登校等児童生徒支援センター（Growth）の誕生

不登校児童生徒数の推移



文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

メタバースを活用した学びの場

Growth



須崎市との出会い 楠瀬市長のリーダーシップ

人口2万人を切る小さな自治体なのに、
なぜか強いエネルギーを感じた！



須崎市の特徴 強みと弱みが表裏一体

さいたま市だから
できるんです
よね・・・。

いいえ。
さいたま市ででき
たことは他の自治
体でもできます！



須崎市では、さい
たま市ででき
なかつたことも
できます。

都会じゃないとできないことは、なくなりました！

須崎市教育変革ビジョン

Make “IT” Fun キミの「好き」を楽しもう

キーワードは**Fun**=楽しむ

楽しくなければ、学びじゃない

楽しくなければ、続かない

楽しくなければ、夢中になれない

では、“IT”って何？

“IT”=キミの「好きなこと」「夢中になれること」

「キミの中から湧き上がるなぜ？と思うこと」

「まだわからないけれどキミがなりたいもの」

そして、もう一つの意味は

ズバリ“IT”=Information Technology

キミを助けてくれる大切な道具

Make “IT” Fun

キミの「好き」を楽しもう

須崎市教育変革ビジョン

須崎市教育変革ビジョン

Make "IT" Fun キミの「好き」を楽しもう

須崎市がチャレンジする4C PROJECT

#1 Change

「教えるから自ら学ぶへ」プロジェクト

ICTをフル活用して、授業デザインを変えます。
何を学ぶか、どう学ぶか、誰と学ぶか、自分で決めます。
「教えてもらう」から、「自ら学ぶ」への転換で
思考力を育みます。

自分に合った学び方を選択できるようにし、
一人ひとりが伸びる学びへ転換していきます。

#2 Customize

「個別最適な学びを楽しむ」プロジェクト

一人ひとりの「学びたい」を育み、応えます。
学びの場は、教室以外にもどんどん広がります。
ワクワクする環境で居心地よく学びます。

様々な視点から、多様な子どもにとって、
よりよい学びを届けます。

#3 Create

「自分の未来を創造する」プロジェクト

先端テクノロジーを活用した課題解決型・探究型学習を進めます。
様々なホンモノに触れ、体験し、探究する意欲を育みます。
■「なぜ」を大切に、一人ひとりが自分の未来を創造します。

保育園から中学校までの学びの連続により、
豊かな創造力を伸ばします。

#4 Collaborate

「みんなと協働」プロジェクト

教育に関わるのは、先生だけではありません。
地域の豊かな学びの資源と様々な人との協働により、
学びの質を向上させます。

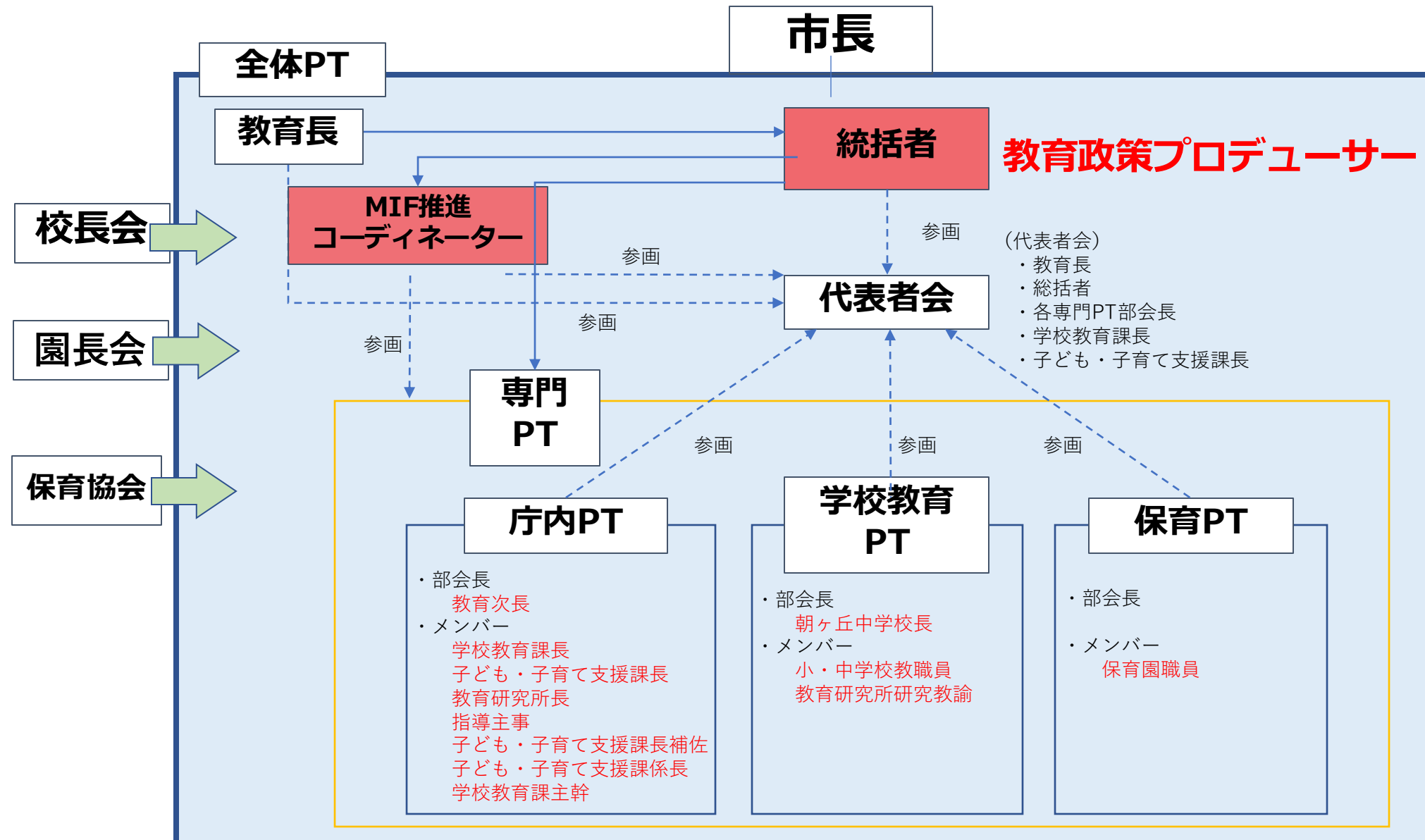
地域の力を活用して学びの機会を広げ、
須崎市ならではの学びを創ります。

小規模自治体で「学び」を丸ごと変える 教育改革のポイント



教育改革のポイント 1 **Make "IT" Fun** 推進プロジェクトチーム

マンパワー不足と多様性を補うために外部人材が力を発揮できる組織が必要



コツその1
明確な組織編成

コツその2
優秀な翻訳者

コツその3
ダウンサイジングだけではだめ
組織が有機的に
働く必要あり

教育改革のポイント2 **Make "IT" Fun** に魂を入れるために 「具体と抽象の往還」を大切にする

須崎の「学び」を丸ごと変えるために必要な「具体と抽象の往還力」

主体的な学習者を育む → 「教えるから自ら学ぶへ」

「複線型授業」「自由進度学習」「協働的な学び」

「複式学級における学習リーダーの育成」

「小規模校における学び合いのための遠隔授業の実施」



人口2万人を切るの須崎市の抱えている教育課題は、日本の近未来の教育課題だから、この自治体での実践を日本の教育課題解決への一助にしたい

2025.8.25 「すさき Education Day」 開催

教育改革のポイント3 **Make "IT" Fun** に魂を入れるために 自治体全体を巻き込む

「すさきデザイン」へのチャレンジ

デザイン思考を中心としたシリコンバレーのアントレプレナーシップのフレームワークに基づいたプログラムにより、生徒の未来の選択の可能性の押し広げます。

中学生 x 地元企業による 須崎の未来探求

須崎市の可能性を広げるために、地域を観察してアイデアを見つけ出し、地元企業と連携して取り組みを進めていきます。これにより、地元企業とのコラボレーションを促進していきます。



デザイン思考の実践を通した プロトタイプ作成、仮説検証

デザイン思考のプロセスを活用しアイデアを形にするためのプロトタイプ（試作モデル）を作る。プロトタイプを活用しユーザーインタビューや検証を進めてアイデアをより具体的にしていく探求を進める。



Susaki Cupでの成果発表と その後の伴走支援

チームで取り組んだ結果を市民を前にして発表することで、生徒の学びの過程やイノベーションに対する理解を深め、またユニークな内容に対しては実行のステップに向けた支援をし、創造することに対する自信を深める。



須崎の大人たち全員で、子どもたちに素敵な体験をたくさん用意したい！

教育改革のポイント4 **Make "IT" Fun** に魂を入れるために 教育改革を楽しむ！



みんなで“ほげる”！

子どもの学びと大人の
学びは相似形！
私たち自身が
Make "IT" Fun
しなくっちゃ教育改
革はできない！